



SKI



ASSOCIATION OF



TOKYO

'78 No. 1

発行 財団法人東京都スキー連盟  
〒 102  
千代田区麹町4-5  
第6 麹町ビル220号  
TEL.(262)2491・(261)5616  
編集 S A T 編集委員会  
印刷 エース工芸

今回、はじめての都連機関紙(S A T)が発刊されることは大変喜ばしいことです。全国で最多の会員数をかかえる(財)都連の実力は自他共に認めるところですが、半面、マンモス化したことによる多くの障害も否定できません。



## 更に大きな一步の躍進を

会長 鳩山威一郎

この機関紙は都連全会員にわたるか

と聞いておりますが、これが全会員の意志疎通の大きな原動力となることを期待いたします。

スキーは雄大な自然にふれ、自然のもつ限界にいどみ、さらに、仲間意識を育てる意味でも現代社

会で失なわれたものを再発見するのに有用です。幸に本連盟はこの目的のために存在し、目的実現のための努力をしております。しかしこの現状に満足することなく理想へ一歩でも近づくよう、

全会員の協力が必要であります。この機関紙が、都連会員を結びつけ、

次の大きな躍進の布石になることを望みます。この小さな紙面から大きな一歩を心から願っております。

## 都連の総括と方針について

専務理事 菅 秀文

昭和12年5月東京府スキー連盟として発足以来41年を経過しました。その間昭和48年念願の財団法人となり、現在、鳩山威一郎氏を会長に擁して一層の組織強化と財政の安定をはかっています。加盟団体 348団体、会員および所属団体行事参加者約10万のスキーヤー稼働は世界屈指といえる大きな世帯です。このマンモス都連の運営には加盟団体の総意に基いて執行部、各種専門委員会が全力を傾注しています。52年度には、執行部各部行事の計49の事業を大過なく消化しました。また外国との交流親善ツアーも実施し内外の信を高めてい

ます。更に財務委員会等、各種委員会も加盟団体および執行部と一体となって積極的に活動しています。53年度の総括方針としては、公益法人としての組織活動の充実と財政安定、都民スキーヤーへの安全対策と普及指導、各種専門委員の育成と活用、指導者の養成と会員の技術向上、競技の普及と選手育成と強化、ジュニアの指導育成などを重点としています。特に会員の浄財による財政の安定方針に加盟団体の一層の御理解と御協力を要請し、都連の総意による運営を図らねばなりません。このことは、社会体育としてのスキースポーツの都の統轄団体として都民に一層貢献しうる態勢を図るためであり、その指導、普及についての都連の使命は大であります。

## KIRYU DESCENTE

●KIRYUはグラフィックデザイナー 永井一正氏のオリジナルデザインです。



レーサーの燃える思いを華麗に描いた  
モダンアートスキーウェア「KIRYU」

《本格派》

**デサント**  
スキーウェア

●日本、U.S.A.、スペイン、イギリス、  
チリ・ナショナルスキーチーム  
オフィシャルサプライヤー  
●日本、U.S.A.、フランス、  
オーストリー・有名スキースクール  
オフィシャルサプライヤー

速いものは必ず美しい

スポーツは生きる喜び/ 株式会社デサント

## 各部よりのメッセージ

私達の都連が、財団法人として発足してより、本年を以て満4年を経過しました。この間、四百に垂んとする加盟団体所属会員各位の協力と支持を得、その業務の執行に事なきを得ております事に心より謝意を表するものです。

然し乍ら、これに付随する事務量の増大に伴い、正確な処理方法の周知徹底と、その簡明化への留意、そして安定した財政の確立を計る事が必要でありましょう。此の為、本年は各クラブの事務専任者の育成、賛助会員の充実を図り、より良き都連の発展に努めてゆき度い所存です。

(総務部)

シーズンの目標を2つ上げ、会員諸氏の御協力をお願いしたいと思っております。

1、転倒方法の研究 転ばぬ先の杖とは云いますが、スキーで転倒はつきもの、転び方、転ばせ方に一工夫して下さい。

2、縮具の調整 転倒しても、それが、ケガに成るか、成らないかは、靴とスキーを、つないでいるバックンの作動にか、っているのが多い様です。はずれたい時にははずれない、はずれたくない時にははずれたのでは、縮具の用はなしません。十分に自分の道具だけは、使いこなして、53年度は、安全で、楽しい、スキーシーズンにして下さい。

(安全対策部)

1月7～8日、つばめ、南関ブロックジュニア大会、3月30～31日、石打、第1回東京都ジュニア選手権大会を1部2部の技量別で実施します。大人達の夢をのせて、シーズン中大回転、回転、距離と、ジュニア(小3～高校生迄3級程度以上)の試合が、土日、休利用で実施されます。ジュニア登録をして将来を荷うジュニアを強化育成しましょう。

目的に向って合理的に滑走日数をかせぐこと、それが雪なし県にとって勝てる要素を築く唯一の道と考えます。そしてその練習に耐える体力を陸トレで作ること、それを至上として、ジュニアのスケジュールがあります。

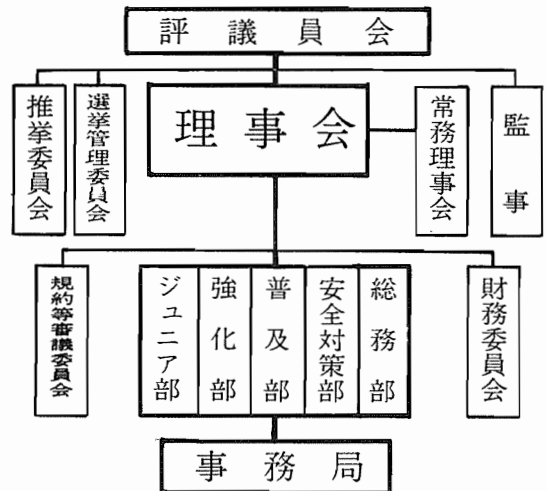
それも学業の間隙の中です。(ジュニア部)

普及部には、大まかに言って、二つの任務がある。一つは指導者の育成である。これからの指導者は、スキーが上手というだけではつとまらない。人間性、理論、技術、指導力にすぐれた人を育てなければならない。

もう一つは、それらの指導者を通じて、基礎スキーの普及を行うことである。そのためのスキー学校、パッジテストを、年間約400校(クラブ主催)開催している。これからも年々多くなるであろう都民スキーヤーの要望に、いかにして応えていくかが、普及部の大きな問題である。

(普及部)

財団法人東京都スキー連盟機構図



都連傘下の競技者の皆さん、昭和53年度からアルペン種目については、ポイント制度を採用して、翌54年度大会参加の出場権を個人に与えたり、シードの資料とする事にしました。ポイント採用の種目と競技会名は、都連発行の53年度カレンダー46頁か、スキージャーナル10月号318頁をごらんの上好成績を挙げて下さい。又、スキーの華といわれる距離競技やリレー競技にも力を入れる方針です。特に都選手権大会兼予選会や都連クラブ対抗で距離やリレーを実施しておりますので、これらの種目への参加や、練習にも努力する事を望みます。

(強化部)

# 安全は縮具の原点、そこから生れた高性能縮具。

## スピーディー・ライン TÜV認定



- ① H5S-GS・RACER ¥14,800  
ワンタッチタイプ・レーサー用 カラー/レッド
- H5S-GS ¥12,500  
ワンタッチタイプ・エキスパート用 カラー/レッド
- H5-GP ¥10,500  
ワンタッチタイプ カラー/オレンジ・グリーン
- ② HOPE350 ¥9,800  
ステップインタイプ カラー/ブラック

SOMETHING EXTRA  
あなたに、よりよいものを  
**HOPE**

## 都連加盟団体の現状 (昭和52年11月29日現在)

今年度から加盟団体（クラブ）の都連負担金納人と同時に団体名簿を提出していただくことに致しました。それをもとにアンケートの一部を報告します。表中、A団体はクラブ員数71名以上、B団体は70名以下のクラブです。残念ながら名簿未提出クラブが69団体あり、この集計は一部推計となっています。

団体の種別	団体数	%	会員数	%
A 団体	41団体	(11.8)	4,483名	(29.6)
B 団体	281 *	(80.7)	10,651名	(70.4)
負担金未納団体	26 *	(7.5)	0	
合計	348 *		15,134名	

	団体数	%	会員数	%
1. 社会人団体	209	(60.0)	8,698名	(57.5)
2. 職域団体	58	(16.7)	2,047 *	(13.5)
3. 地域団体	33	(9.5)	1,868 *	(12.3)
4. 学校団体	38	(10.9)	1,529 *	(10.1)
5. その他	10	(2.9)	992 *	(6.6)

クラブの運営について、今回は職域団体及び同好団体に報告して頂きます。

新日鉄本社スキークラブは部員57名で、うち指導員1、準指2、1級7です。会社には北海道、東北に製鉄所があるので、その出身者を含めてスキー人口は多いのですが、クラブ員は割合少なく、又、常時活動しているのは30名足らずです。組織は会長、副会長1、幹事5で、毎年10月の総会を決定機関とし、運営は幹事が随時幹事会を開いて進めています。

行事は1、2月に3回行なう会社とクラブ共催のスキー講習会（各回100名）を中心に、12月初滑り、年末年始、3月、4月、5月連休の各1回で、クラブ上級者が指導にあたっていますが、参加者の多い時は室蘭製鉄所から指導員の応援をおおいでるのが現状です。

さて、当クラブの問題点は、①指導者層が少ない。②会社と共催の講習会のためクラブ独自の行事が組みにくい。という点です。近年、若手の入部希望者は多いのですが、新入部員がはいってもしっかりしたフォロー体制がとれず期待に答えられないのが残念です。

今後の目標はクラブ独自の行事を充実させる事と、現在の指導者3名では各行事の分担も難しいので、1人でも多く準指に合格してほしいところですが、仲々うまく行かないのが悩みのタネです。

(職域団体 新日鉄)

会員数



団体数



昭和30年創立のクラブですが、相変わらずちんまりとまわっているのが実態です。地道に指導者の養成を進め、順次指導員が生まれました。また会員数は、全日本登録クラブ一元化で一部の人達が、それぞれ出身母体に帰ることなどありましたが、常に50名程度を擁しています。

53年度のクラブの実態は

53年度登録会員 42名 (男33名 女9名)

内訳 10代3名 20代17名 30代11名

40代9名 50代2名

役員構成 会長1名、副会長1名 理事11名 (理事長1名を含む) 監事2名

クラブ運営 総会 年一回 理事会必要に応じて。

理事会 総務、教育、会計の3部制で運営

会費徴収 総会、その他

事務連絡 郵便、電話等 各行事は印刷物で案内

その他 自己の都合による休会々員にも各行事案内の郵送を行なっている

53年度の行事予定と運営 (担当理事)

1、クラブ内研修会 (2名) 2、初滑り会 (2名)

3、正月講習会 (全員) 4、上級者強化合宿 (2名)

5、スキーパーティ (4名) 6、強化合宿 (2名)

7、運動会 (2名)

以上簡単に当クラブの現状を述べましたが、最近若い人が少なく、大半の人が日曜スキーヤー的で、少し長い日程の行事が組めない事が残念です。出来れば、強く、切れの良い、美しい、安全なスキーを目標に、基本的なスキーは？楽しいスキーとは？、など「カッコウの良さ」も大切にして、時々ポールを楽しみながら今年も精一杯滑りたいと思っています。

(同好団体 レディアンス)



# HUBER

ゴールへの進撃に  
情熱をかける

スポーツは世界のことは

# asics

株式会社アジックス

## あなたの事務連絡担当者をご存知ですか？

東京には実に多くのクラブが存在し、その統轄団体として都連があります。あなたはその中の1つのクラブの会員であると同時に、都連の会員として、都連主催の諸行事に参加できることになっています。それら都連からの連絡や通知は、すべての都連会員に周知徹底できるようにしておかなければなりません。しかし実際には、各クラブ単位宛に連絡していますが、クラブのどこに連絡がくるか、あなたをご存知ですか？クラブの会長さんでしょうか？

都連からは各クラブに事務連絡担当者1名の設置をお願いしていますが、通知や連絡は都連事務局より月に3回、各クラブの事務連絡担当者に文書発送という方法で行なっています。そして各会員にはその事務連絡員から周知徹底を計るというシステムをとっています。都連行事の申込やメ切、その他一切の情報はあなたのクラブの事務連絡員の所に集まります。

## 会員の声

今シーズンから、バッジテストの種目が変わる訳ですけれども、1・2級の種目が、あまりにも少ないような気がします。1・2級に必要な度胸・積極性というものが検定を受ける方には必要ですが、その種目が消えてしまい、その消えてしまった種目の重要性というものは、どうなるのでしょうか。

これについて東京都連の方はどのように考えているか、又、全日本のこれからの方針は、どのように変わっていくのでしょうか。  
(小平 SK)

## 編集後記

2・3年前の評議員会で加盟団体からの要望の中に、都連内のコミニケートを計るため全会員対象の機関紙を作ってくれというのがあった。その後執行部で検討を重ねたが諸行事の実行や膨大な事務処理に忙殺されて、そこまで手が廻らないのが実情であった。幸い、総務部に専門委員が設置され、それも有能な方々が進んでひきうけられたおかげで、余力が生じ、この機関紙の誕生という運びになった。折角生まれたこの「SAT」、である。都連全会員の共通理解の一助のためにも、会員1人1人が「SAT」、を愛し、

待ちに待ったシーズンが到来した。陸上トレーニングや夏スキーでの成果が、ここに結集されるのである。

「北海道では、もう降ったらしいよ。」こんなひと言が部員の目を輝かす。今年は、どのようにしたら上達するだろうか、どの程度まで技術向上を目指すとか、などと心は白銀の世界へと飛んで行ってしまふ。個人差はあっても、部員ひとりひとりが目標を持ち、スキーに対する意識を高める時期は、今をおいて他にはない。

初心者も上級者も、ともにスキーの楽しさ、苦しさを分かち合う——さあ、今年も頑張るぞ!!

(早大スキー同好会 上田悦子)

## 加盟団体の永久登録番号について……事務局

昭和43年10月の第3回理事会に標題の提案があつて「加盟団体の急増に伴う、事務手続きの合理化を図る意味から、今後、都連と、その加盟団体とに行なわれるすべての事務手続きは、永久番号を加盟団体とセット利用する」とこととなり、昭和44年度の都連名簿から初めてこれが採用されて登場した。団体番号は1番、東京アマチュアスキークラブを筆頭に末尾が228番の駿台スキー倶楽部であった。

あれから10年の歳月を経て、団体番号は11月17日現在410番を数えるに至った。しかしながら、会員の不足等の事情で脱落した団体が62団体欠番となっており、実際の加盟団体数は348団体である。

加盟団体においても、都連事務局でも折角なじみ深く文字通り便利で利用している番号ではあるが、このようにクシの歯の抜けた状態となつては10年に1度程度の番号整理が必要なのではないだろうか、加盟団体の深いご理解を得たいものである。

育てて行くことを切にお願いしたい。(鈴木茂) 師走が来るといのに、どこからも雪のたよりが無い。キャップや同僚まかせの編集作業。こんどはヤルゾ(TY) 少ない人員と時間でこれだけの仕事をするのは大変な事。これも全て委員長のスキーに対する情熱に依る所大。ありがとう。ニモツより(岡田) 生まれ出する苦しみ、無我夢中の作業が果してどうか？次号からは、もっと内容のあるSATにしたい。(J・T・K)

「SAT」、編集委員会 委員長 鈴木茂夫、委員 箭内武岡田興一 大槻譲 高倉靖夫 木村靖夫



# VTQ CUSTOM

(デモ用) サイズ=198・193・188・180・175cm

¥78,000

日本ナショナルチーム・オフィシャルサプライヤー  
**KAZAMA SKI**